

1 施設の役割

観光情報の発信と、市民や市内外から来訪される方々との交流の場を提供するほか、津波発生時には緊急避難場所的機能を有する施設です

平常時	観光交流	大船渡の魅力・文化を伝える観光コンシェルジュ
	地域づくり	多世代の交流・憩い、活動、情報発信の場
	津波伝承	災害の教訓や防災について学び交流する場
	都市間交流	震災を機に生まれた交流を育み、未来を創る場
災害時		逃げ遅れたときの一時避難場所



敷地面積	約5,650㎡
延床面積	約3,200㎡(ピロティ、駐車場含む)
構造	鉄筋コンクリート造 3階建

2 施設設計コンセプト

①人々を繋げ・人々に繋がるデザイン

- ・人々がつながりあうコラボストリート
- ・津波体験をつなぐ伝承スペース
- ・建物と一体となった屋外空間の形成(大階段と連続した広場空間など)
- ・わかりやすい歩行者動線を確保(市道南北線からの視認性の確保など)

②駅前にふさわしい賑わい・憩いを生むデザイン

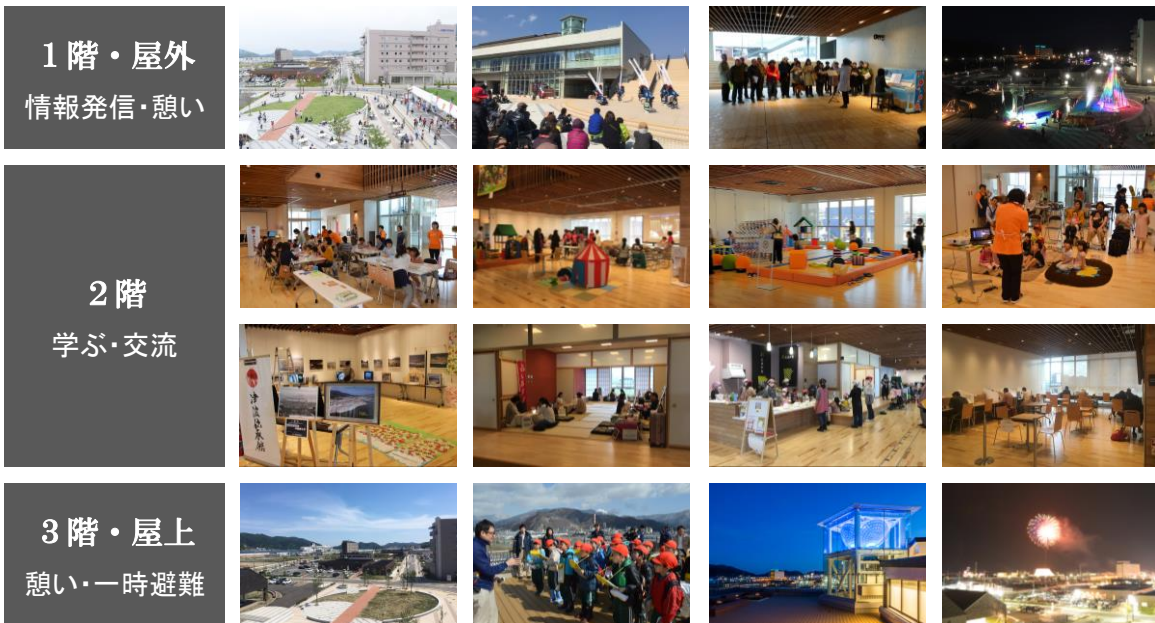
- ・復興のシンボル(大階段やガラスカーテンウォールなどを用いたデザイン)
- ・憩いの多目的広場、展望デッキを配置
- ・イベントスペースを確保

③津波災害から人々を守るデザイン

- ・避難施設としてわかりやすい形(屋上に直接つながる大階段)
- ・避難施設(ピロティ構造など災害に強い構造)
- ・わかりやすい避難動線(誘導標識の設置など)
- ・被災後の復興活動拠点

④人や地球に優しく、環境に配慮し、誰もが安心・安全を感じるデザイン

- ・ハートビルやノーマライゼーションの取組み
- ・環境に優しい素材の利用と環境配慮への取組



1階・屋外
情報発信・憩い

2階
学ぶ・交流

3階・屋上
憩い・一時避難